

R07b SDSS1044-0125 フィールドにおける Strong Low-z emitters の研究

安食優、谷口義明、村山卓、塩谷泰広、佐々木俊二、畠山雄一郎、森岡大地、横内あすか、小泉修、高橋真理（東北大理）長尾透（INAF）

我々は $z = 5.74$ の quasar SDSSp J104433.04-012522.2 を含むフィールドに対して、すばる望遠鏡の主焦点カメラと狭帯域フィルター NB816 および中帯域フィルター IA827 を組み合わせた撮像観測を行い、 $z = 5.7$ の赤方偏移のライマンアルファ輝線銀河の探査を行ってきた (Ajiki et al. 2003, AJ, 126, 2091; 2004, PASJ, 56, 597)。我々はこの探査で見出された輝線が強い銀河の中で高赤方偏移銀河ではないと判定した、55 の低赤方偏移の天体の性質についての研究を行っている。これらの基本的な性質、phot-z による分類についてはは 2004 年春季学会 (R14b) にて報告を行った。

今回はその研究をさらに進め、 $H\alpha$ ($z \sim 0.25$)、 $[OIII]$ ($z \sim 0.64$) 及び $[OII]$ ($z \sim 1.2$) のそれぞれに分類された天体に対して、それらの絶対等級、輝線等価幅の分布等を調べた。また、比較として SDSS DR3 の分光天体カタログから今回の探査と等級や輝線等価幅の条件に当てはまる天体を選び出し、その絶対等級、輝線等価幅の分布を調べた。この比較の結果、我々の発見した強輝線天体と同様な性質を持つ天体は近傍宇宙にも数多く存在することが明らかになった。本講演ではこの比較の詳細について紹介する。